

平成25年度

## 佃幼稚園年度末学校評価自己点検・自己評価

本年度重点をおいた評価項目

(A：十分に出来ている B：出来ている C：取り組んでいるが成果が十分でない D：取り組みが不十分である)

評価項目	自己評価	結果と分析
教育課程・指導 教育要領の精神を踏まえ、園の方針に従い、指導計画・保育計画を作成する。	B	経験を重ね、見通しをもって、計画を立てることが出来るようになった。 必要に応じた変更も出来た。 年度後半、個々での見直し、振り返りは出来たが、全体で共有する時間がなかなか持てなかった。
日々の保育と幼児への対応 幼児のみとりと理解を深め、日々の保育へ生かし、幼児の生活をよりよいものになるよう努力する。	A	個々の興味にあわせて、工夫したり環境作りに努めることが出来た。 学年ごとで話し合う機会が多く持てたことで理解が深くなった。
教師としての資質や能力、良識、適正 専門家としての能力やマナーを身に着け、組織の一員としての在り方を心がける。	B	日々意識して行動が出来た。 先輩を真似たり、互いに確認しあったりした。 保育の幅が広がるよう新しい手遊びや歌を積極的に取り入れた。 各自が研修などで学んだことの共有に十分な時間が持てなかった。
組織の一員としての意識・在り方 提出物や公共物の始末など意識をもって行える。園全体のことに心配りができる。	C	提出資料が共有できるように整理に努めた。 互いに声を掛け合い取り組むことが出来た。 日々の保育に追われ、提出期限が遅れることが多かった。
研修・研究 園内・園外とも、今日的課題に関する研修・研究に取り組む。	A	指定研究園に当たったこともあり、教諭全体で十分に取り組むことが出来た。 反面その為に多くの時間を割かれたが、中でもその他の研修にも積極的に各自参加する姿も見られた。

次年度への改善点

- 指定研究園での研修を通して、事例研究に時間を割くことになったので、こどもの理解や環境の設定について意見交換出来たことは、様々な点で好影響があった。しかし、当然ながら教師間の差がなくなることはなく、経験の浅い者は継続的に他の教師を見習う姿勢と、経験年数の多い教師は、指導を丁寧に分かりやすく行う様に努める必要がある。報告と連絡は当然ながら、相談が活発になるよう心がける。
- 指定研究のことも影響しているのか、時間に追われ、書類の提出に遅れたと反省する教師が多くみられた。
- 個々で受ける研修では、紙面での報告だけではなく朝礼なども活用して報告するようにしたが、より詳しく教師間で共通理解できるようにしていきたい。